

浜松市北引佐町区久留女木の棚田に伝わる

# 竜宮小僧の伝説

昔むかし、都田川の上流に大淵という深い深い淵がありました。その青々と水をたたえる淵の底は、竜宮に通じているといわれていました。

田植えのころ村人は、あまりの忙しさに「誰か手伝ってくれんかやあ」とつぶやくと、大淵から小僧が飛び出してきて「オレがやるよ」といつて田植えを手伝ってくれました。そして夕方になると、どこかへ帰って行きました。

ある夏の日の午後、急に真つ黒い雲が湧いてきて、見る間に滝のような大雨が降りだしました。田んぼで仕事をしていた村人は、帰る間もなく「困ったやあ。干し物が濡れちゃうで」というと、また大淵から小僧が出てきて、村中の干し物を取り込んでくれました。

村人が忙しくしていると、いつも出てきて手伝ってくれるのですが「おまえはどここの小僧さんだね？」と尋ねても「どこでもいいじゃん」と笑って何も答えません。けれども村人は、この不思議な小僧を、竜宮に通じる大淵から来る「竜宮小僧」と呼んで、たいそう可愛がっていました。

穏やかな暮らしが続いたある日。「おい、小僧さん。いつも手伝って

くれるで、ごちそうしたいか何が好きかねえ？」と聞くと「なんでも良いけど、蓼汁だけは飲めないんだ」と、ひどく蓼汁を嫌っていました。

ところが、ある日のこと。村人が誤って蓼汁を出してしまいました。そうとは知らず、一口飲んだ竜宮小僧は倒れ込み「オレが死んだら、久留女木の榎木の下に埋めておくれ」と言い残して死んでしまいました。

村人はたいそう悲しみ、泣く泣く竜宮小僧を榎木の下に埋めました。するとその木の根元から、きれいな水が、こんこんと湧き出してくるではありませんか。村人はその湧き水を使って、たくさん田んぼを作りました。それがこの久留女木の棚田だといわれています。

自らは名乗ることなく、困っている人がいれば誰でも助け、見返りを求めることもなく、死んでもなお水源となり棚田を潤してくれる竜宮小僧。今も変わらず、村に恵みを与えてくれる竜宮小僧の湧き水に、村人は感謝の気持ちを込めて、田植えや稲刈りの後には、お供え物をして手を合わせています。





# 竜宮小僧の心を 新たな浜松市の魅力に

久留女木竜宮小僧の会では2000年から田んぼを借りてお米を作っていますが、勤めながら休日には耕作している人が多いため、暗くなっても作業が終わらず途中で帰ってしまうことがよくあります。先日田植えを途中にして帰ったところ、翌日、田んぼに行くと、あら不思議。田植えが全て終わっているではありませんか。

周囲の農家に「誰がやってくれたのでしょうか」と尋ねると、みなさん口をそろえて「竜宮小僧がやってくれた」と言うのです。もちろん、私たちの作業の遅れを見るに見かねて、周りの農家が手伝ってくれたのは間違いないのですが、「竜宮小僧がやった」と言って笑う久留女木の人々に、頭を下げずにはられません。

自らは名乗ることなく、誰にでも優しく手を差し伸べ、見返りも求めず、死んでもなお棚田の水源となって、今も村に恩恵を与え続けてくれる竜宮小僧。大河ドラマ「おんな城主直虎」では、その竜宮小僧の精神が主人公の生き方と重なって、物語の重要な要素となりました。

徳川家康や井伊直虎で有名になった浜松市ですが、実は、市井ではこのような「利他の精神」や「助け合いの心」も深く息づいています。「竜宮小僧の心」が、浜松市の新たな魅力の一つとして、多くの人に浸透していくことを期待してやみません。

久留女木竜宮小僧の会（棚田保全活動グループ）



## 久留女木の棚田

大河ドラマでは井伊の隠し里として登場し、竜宮小僧の伝説を育んだ久留女木の棚田は、浜名湖の北、浜松市北区引佐町の山間部にあります。「日本の棚田百選」や「静岡県景観賞」にも選ばれているなど、県内最大級の耕作面積を誇る美しい棚田として、近年注目されています。総面積約7・7ha、その中に800枚ほどの田んぼがあるといわれ（耕作面積は約2・5ha）、竜宮小僧の湧水はその最上部にあります。

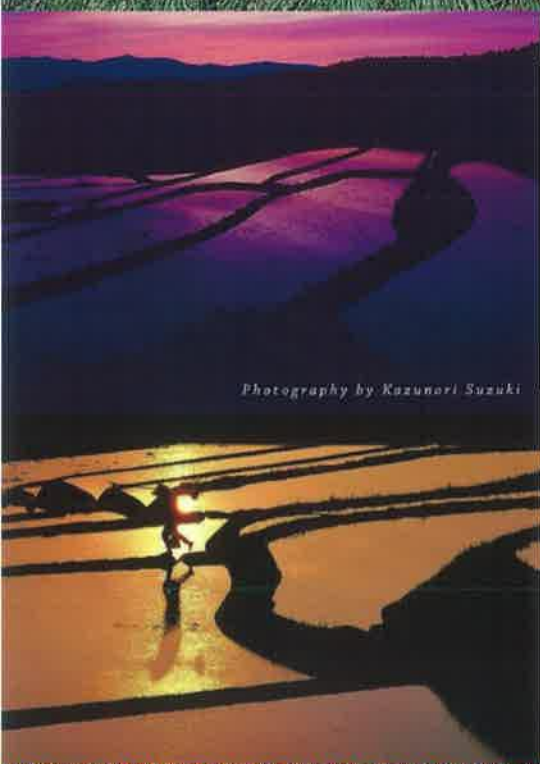
※久留女木の棚田は私有地（農地）です。駐車場は旧久留女木小学校を利用し、舗装道路以外の畦道には立ち入らないなど、マナーを守って見学してください。



Map

発行／浜松市 北区 区振興課  
電話／053-523-1168





久留女木の

# 棚田

# 竜宮小僧

# サポーター

## 年会費5,000円

稲作と伝統の久留女木の  
「生産」 「文化」 「伝説」

棚田の保全に「出来る事」をしてみましょー！！

### 平成30年度 募集！！

先着**50**名様

グループでも  
お申込みできます

特典1

棚田の恵みをあなたに

棚田米「直虎の里」をお届け

2kg：湧き水育ち(市場流通なし)

特典2

近況情報を知って、あなたも竜宮小僧に

会報誌「久留女木竜宮小僧」

年2回：稲作から伝統芸能まで

お申込みお問い合わせ **久留女木竜宮小僧の会**

TEL 090-8869-0398

URL <https://www.kurumeki.com/>

090-2433-3444

Facebookページもあります

# 久留女木の棚田 竜宮小僧 サポーター 申込用紙

以下の必要事項をご記入のうえ

久留女木 竜宮小僧の会 事務局へご持参いただくか、ご郵送またはFAXでお送り下さい。  
後日、会費の振込用紙を送付いたします。当事務局がご入金を確認し次第、登録完了となります。

申込日：

氏名 (ふりがな)		年齢	歳	性別	男・女
連絡先	住所 (〒 - )				
	電話		携帯(PHS)		
	E-mail				
ご職業 (任意)					
メッセージ 申込動機 質問 ご意見等 (任意)					
棚田活動の 経験 (任意)	ある ( )、ない				
イベントへの 参加 (任意)	久留女木竜宮小僧の会では以下のようなイベント計画をしています。参加してみたいと思うものに○を付けてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・稲作体験会...田植え体験会・稲刈り体験会</li><li>・収穫祭...久留女木の棚田保全に興味のある方全般ご参加いただけるイベント。</li><li>・久留女木棚田塾...将来、自分の食べるお米を自分で作ってみたいという人向けの1年を通じた稲作を学ぶプログラム。</li></ul>				

## 申込用紙送付先

〒431-2211 浜松市北区引佐町花平342-2 (鈴木一記 方)  
久留女木竜宮小僧の会事務局  
FAX : 053-542-4560